

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月17日更新

事務事業名		アニメを活かしたまちづくり事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	政策部	課長名	坂本政誠
	施策	21	生涯学習の推進				所属課	政策課	担当者名	杉村輝彦
	基本事業	66	学習の啓発				所属班	政策班	(内線)	1231
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 9	事業連番 11544	法令根拠	成果優先度評価結果 : ⑧ コスト削減優先度評価結果 : ⑥		
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 23 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市に賑わいや市外へPRを行うことを目的に、漫画・アニメ・映像等を活用したイベントの実施。</li> <li>・市に縁のある漫画家やアニメクリエイター、更にはアニメ・マンガを活かしたまちづくりを行っている団体の協力を得て、市の資源を活かした地域CM制作や漫画単行本等を作成し市内、市外にPRを行う。</li> <li>・コンテンツ産業の誘致に向けた関係団体との協議。</li> </ul>
【業務の流れ】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市に賑わいをもたらす施策として、本市に縁がある漫画家、映像プロデューサーと熊本県内で活躍されているNPO団体、更には専門性がある大学教授を招きシンポジウムを開催する。</li> </ul>
【主な予算費目】	旅費、委託料
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漫画やアニメ等を活用した事業は、求めた声がある。</li> <li>・この事業は、他の自治体では、あまり取り組まれておらず、将来の市の発展に効果があると思う。</li> <li>・コンテンツ企業から合志市で事業を営みたいと要望があっている。</li> </ul>

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・漫画・アニメでまちづくりの活動をしている団体と連携し、大手コンテンツ企業を招いた「クリエイターズツアー」を実施した。</li> <li>・本市出身の漫画家や映像制作プロデューサーを招いて、シンポジウムを開催した。</li> </ul>	合志市や県内自治体が一同に、コンテンツ企業と連携し活性化を図る施策として、地域資源の発掘や磨き上げを行い、コンテンツ企業の「作品」や「企業」の誘致活動を行う。	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 協議を行った回数	回	(事業の減額) 県内自治体と連携した事業を実施することとしているため、自主事業を休止した。
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
市民	→ ア: アニメ等関連事業をHPに掲載した件数	回
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
賑わいのあるまちづくりに取り組む	→ ア: HPを閲覧された回数	回
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
アニメやマンガを活かした事業に関心があるかを指標とした。		全体計画
		~ 年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度実績(決算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	28年度予定	29年度見込	30年度見込
①活動指標	ア	回	25	20	30	20	30	30	30	30
	イ									
②対象指標	ア	回	21	2	20	4	25	30	30	30
	イ									
③成果指標	ア	回	69,798	73,949	70,000	74,057	80,000	90,000	95,000	100,000
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円	450						
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	520	913	1,263	2,733	626	2,000	2,000	2,000
	(A)事業費計	千円	970	913	1,263	2,733	626	2,000	2,000	2,000
人件費	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	4	6	5	6	5	5	5	5
延べ業務時間	時間	1,188	1,420	1,000	1,910	1,000	1,000	1,000	1,000	
(B)人件費計	千円	4,836	5,657	3,984	7,609	3,984	3,984	3,984	3,984	
トータルコスト(A)+(B)	千円	5,806	6,570	5,247	10,342	4,610	5,984	5,984	5,984	

事務事業名	アニメを活かしたまちづくり事業	所属部	政策部	所属課	政策課
-------	-----------------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した アニメ関係機関、県内のアニメ・漫画でまちづくりを目指しているNPO団体等との調整は図られ、事業仕分けで委員から良い評価もあった。しかし、この事業の目標を明確化する必要がある。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 漫画やアニメを活用した取組みについて、市民参画の事業を実施し市民の理解も得られてきた。今後はコンテンツ企業と連携し更なる発展に努めたい。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 漫画・アニメを活かした取組みを行っている自治体・大学等が近年増えてきている。今後はこのような自治体等と連携して進めることで成果の向上余地がある。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の予算で執行しているため削減の余地はない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の事務で行っているため削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 一部の受益者を対象とした取組みではないので、公平性は保たれる。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 漫画・アニメ文化による賑わいのあるまちづくりに市が努めることには異論もあるが、故郷出身の漫画家等を活かすことは市の役割である。

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

アニメを活かしたまちづくりで、故郷出身の漫画家を活用することで賑わいがもたれると思われるが、出版社等の著作権関係で協力を得てもらうことが非常に難しい。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																					